五木村議会だより
2012（平成24年）7月31日発行
No.101

やまめ

題字：尾方　芳郎氏

楽しい水あそび（中央保育所）

（もくじ）

・７.12豪雨災害ルポ …… 2～3
・体験交流促進事業に200万円（６月定例会）…… 4
・いつきちゃんネルの充実を …… 5
・景観条例の現況は（一般質問）……6～12
・五木村の宝（シリーズvol.５） …… 14

7.12 豪雨災害ルポ

災害お見舞申し上げます

7月12日の豪雨は、熊本県の雨量計（高野）で午前10時から11時の1時間に80㎜と言う猛烈な雨を記録し、午前6時から午後1時までに累計300㎜を超える大雨となりました。

村議会も現場を視察しましたが、家屋の全半壊、床上・床下浸水、道路の決壊、自動車や財産の流失等々、改めて被害の大きさに驚き、被害に遭われた方々に対し、心からお見舞い申し上げるとともに、議会といたしましても、執行部と一丸となり、生活再建のお手伝いをさせていただく所存です。

五木村議会一同

議会議員の災害ルポ

田口渓流砂防ダム（土砂が推積）

田口渓流

九折瀬地区住宅（軒まで岩砕・土砂が堆積）

吐合地区の住宅

村道入鴨線（大きな岩石が崩落）

五木村に甚大な被害

県道宮原五木線（洗出付近）

災害にあった九折瀬地区観音堂

県道宮原五木線（元井谷地先）

国道445号（横手地内）右奥の迫から土砂流出

元井谷地内車庫

折立地区住宅内

元井谷地区

九折瀬地区（白く見えるのは岩砕）

こんなことが決まりました

体験交流促進事業に200万円

平成24年第2回五木村議会定例会が平成24年6月13日から14日までの2日間開催。「報告案件1件」・「承認案件2件」・「同文議決案件2件」・「条例の一部改正案件3件」・「人事案件1件」・「補正予算案件3件」の合計12件を原案のとおり可決しました。

また、一般質問には7人の議員が村政について質問しました。

《報告》
- 繰越明許費繰越計算書

《承認》
- 専決処分の承認（五木村税条例の一部を改正する条例）
- 専決処分の承認（五木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

《同文議決》
- 熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更
- 熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

《条例の一部改正》
- 五木村百寿祝金等給付条例の一部改正
- 五木村印鑑条例の一部改正
- 五木村手数料徴収条例の一部改正

《人事案件》
- 教育委員会委員の選任
  住所　五木村丙34番地
  氏名　土屋靖子

《要望書》
- 栗鶴・鶴地区の農業用取水口・水路改修
- 下谷地区の鶴地下谷線の道路改良
（2件の要望事項は経済常任委員会に付託される）

6月定例会　一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	908万円	30億83万円
国民健康保険特別会計	5万円	1億9,621万円
介護保険特別会計	251万円	1億8,649万円

一般会計補正予算の主なもの

総務費	体験交流促進事業業務委託	200万円
民生費	介護保険特別会計繰出金	251万円
	保育所臨時職員賃金	126万円
農林水産業費	造林作業道開設補助金	357万円
教育費	社会教育指導員報酬	150万円
	食育推進事業費	96万円

（千円以下は切り捨て）

常任委員会

― 総務常任委員会報告 ―

いつきちゃんネルの充実を

総務常任委員会では、五木村情報基盤通信事業の運営、維持管理について調査を行ってきましたが今回は、同じようにケーブルテレビを整備し住民に情報提供を行っている山江村「マロンテレビ」の視察研修を行いました。

マロンテレビの特徴

・自主制作番組を放映
・役場だより(行政連絡)は各担当課が直接出演、情報提供
・専門スタッフの常駐
・取材機器、撮影スタジオを自前で完備

	山江村（1182世帯）	五木村（539世帯）
加入状況(ケーブルテレビ)	917世帯(77.56%)	539世帯（100%）
加入状況(インターネット)	173世帯　(14.6%)	168世帯(31.16%)
料　　金(ケーブルテレビ)	1500円	1000円
料　　金(インターネット)	2500円	2500円
減　免　制　度	７５歳以上の高齢者のみの世帯:１０００円減額	７５歳以上の世帯減免あり

マロンテレビの視察

まとめ

ケーブルテレビは自主制作番組を放映することでの行政と住民の情報共有、住民参加により行政との信頼関係の構築が期待できるので、村の職員も視察研修をして今後の「いつきちゃんネル」の運営、維持管理に活かしていけるように提案します。

― 経済常任委員会報告 ―

白岩戸地区急傾斜地等危険箇所調査

調査経過

白岩戸地区からの要望書提出に伴い、4月11日に委員長、委員4名、事務局長、建設課長、課長補佐並びに白岩戸区長の立会いのもと、要望があった5箇所について、現地調査を行いました。

委員の意見

・要望書のとおり、各箇所とも危険な状態にある。
・再度、建設課で詳細な調査が必要である。
・落石は見られなかった。
・熊本県の判断に委ねるしかないのではないか。

まとめ

建設課で再度、詳細な調査を行い、熊本県とも協議を行った上で、後日、委員会で再協議を行います。

再協議（第2回委員会）

調査経過

建設課で行った詳細調査の報告が、5月23日に行われ、調査の詳細や制度上の問題及び熊本県との協議内容について再度、委員会で協議を行いました。

まとめ

建設課の説明では国・県の制度上及び財政的な問題もあり、現時点での対策工事は困難との報告であった。しかし、安全に生活ができる環境整備は重要であり、今後、執行部並びに委員会（議会）が一丸となって再建計画に盛り込んでいけるよう関係機関への働きかけに努めていく。

(財)ウッドピア諸塚研修

調査経過

5月29日、委員長、委員4名、事務局長、農林課長で、宮崎県諸塚村で設立されている「(財)ウッドピア諸塚」の設立概要等の研修を行った。当財団法人は多くの若者を雇用し、定住促進にも力を入れている先進地で、(財)ウッドピア諸塚の事務局長から設立経緯や現在の状況の説明を受けました。

(財)ウッドピア諸塚の概要

・平成2年5月、「森林作業隊」として発足
・平成7年3月、(財)ウッドピア諸塚設立
・事業内容（森林管理、作業道・公園・集落環境整備、特産品開発・加工、畜産センター管理等）
・従業員数（29名）

委員の意見

・自分の給料は自分で稼ぐとの考えを全職員が持っており、たいへん素晴らしい。
・若者の定住を主眼に考え雇用の場を作っている。
・設立までの経緯を聞いて、当時の諸塚村長はたいへん苦労されているようだ。
・商品開発や販路拡大等を自社の部門で行っており、本村も今まで以上に道の駅を活用した取り組みが必要である。

まとめ

4部門の事業で約30名の若者を雇用し、定住も促進している。また、地元出身の高卒（新卒）者も多く雇用し、素晴らしい取り組みである。本村も自力で稼げる第3セクターで、若者の雇用促進と定住につながる取り組みが必要である。

を 問 う ！

景観条例の現況は

山本議員

緑化を勧め維持してきた

和田村長

山本議員　「五木村ふるさと景観を守り育てる条例」は、平成10年に制定、頭地地区のみが重点地域に指定され14年経過した。重点地区の景観はどう維持されたのか。

和田村長　重点地区の景観は、移転に伴い条例を制定。建物については事前に建築士等と協議し、建築は条例に基づき申請をしてもらった。その後については、多少の増築はあったが平成15年度以降は新たな申請等は受けていない。あとは、緑が少ないと言われるので緑化を勧め維持してきた。

質問　五木村内には以前、竹下内閣時の1億円の創生基金で作成した彫刻が12基ある。それを景観条例に則して重点地域の頭地地区に全基を設置する考えはないか。

景観条例重点地区の頭地地区

村長　来年、頭地大橋の完成に伴い、大橋から道の駅まで多少、周辺整備を行うので彫刻も目に付かないものについては別途相談しながら集約をしたいと考えている。

質問　「五木村振興計画は足踏みがないように進める」と村長は言っているが、水質日本一の清流川辺川、全国にも有名な子守唄を活かした特産品、木工品や温泉水で村の振興に取り組む考えはあるのか。

村長　頭地大橋は、残念なことに当初の計画と異なり、単純トラスト橋になってしまったが水没予定地を眺（のぞ）めることができる大きな橋として、存在価値はあるので完成を契機に物産館等の事業で対応したい。

質問　ふる里五木村づくり計画の目標年度の平成30年度を目指し、村づくりの交流、安心安全、持続自立を図り目標実現に向けた村長の意気込みは。

村長　平成30年度を目標に進めるが、あと6年しかないので議会とも協議しながら早く予算化し、実施できるものは進め、仕上げていきたいと考えている。

彫刻コンクールの作品

村づくり

五木村の節電対策は

中村議員

各家庭及び事業所にお願いする

和田村長

中村議員　震災に伴う原子力発電所の停止により節電が重大な課題となっているが、各自治体でも独自の取り組みがなされている。五木村の節電への取り組みはどうなっているのか。

和田村長　特に夏場はエアコン・クーラーの使用が大きな要因である。本村では急激な電力の消費増加は見られないので独自の取り組みはない。基本的には節電を各家庭および各事業所にお願いする予定である。

質問　自治体によっては数値目標を定めるなど、細やかな対策をされているが、どう思われるのか。

村長　たくさん電力を消費するところでは有効だと思うが、本村においては数値目標が出しづらい。

●携帯電話の不感地域対策は

質問　重要な生活ツールである携帯電話の不感地域（平沢津、下梶原など）や電波が状況によって、途切れるような地域の把握はされているのか。また、どう思われているか。

村長　西地区が多少解消されたが目標までは至っていない。都市部より山村、山間地域にこそ必要だと考えている。想いと現状がマッチしていない。

質問　平成24年度の「重要施策および主要施策」の中で情報基盤整備の促進、特に携帯電話不感地域の解消を掲げられているが現況はどうなっているのか。

村長　どの地域が通話可能で、どこからが通話不可能なのか詳細の調査はまだ実施していない状況である。

質問　最低でも民家とその周辺は詳細に調査して把握してもらいたい。九州管内で携帯電話の圏外に住む人口は5万人とも言われているが、世帯数、人口が共に10数人でも不感解消に向けて進んでいる事例もある。過疎地域は特別な費用負担や実施時期も後回しされがちなので防犯、防災の面からも努力を求める。

村長　以前は助成金、助成制度はあったが現在は無いので財政負担が一番の課題となっている。民間会社は採算が合わないと整備をしない。現在、瀬目、葛の八重地区に中継局を整備する交渉が始まっているのでその他の地域も何とか努力したい。

家庭用エアコン

を 問 う ！

若者の雇用と定住事業を前倒しが必要

藤本議員

出来る事業は早く取り組む

和田村長

藤本議員　五木村の基本構想に基づき若者の定住と雇用等20年度に作成がされ今年が初年度で再建の目標数値が掲げられているが、三世代、生産年齢人口ともに減少をしており再建事業を前倒しする必要があるが村長の考えは。

和田村長　就労の場、お住まい等包括的な条件整備が必要で先延ばしすれば五木は非常に困難で財政の負担も大きいが早く事業をやる姿勢で臨みたい。

質問　計画では26年度以降徐々に雇用の場を確保創出、生産人口を増す計画をしており24年度から再建事業を前倒しする必要があるが。

村長　シイタケ生産商品開発等24年度から雇用に結びつくことは難しい。物産館の体制を重視し林業労務に強度間伐で雇用が生まれると考えている。

質問　現在Iターン、Uターンに対する助成事業があるがメリットが少ない。他町村にないインパクトある取り組みが必要と思うが。

村長　群馬県上野村、宮崎県諸塚村では公的投資をし月20万円の給料等でIターン、Uターン者が増えており、踏み込んだ助成事業が必要と思っている。

子育て・定住支援事業パンフレットより

質問　誘致企業が困難な中で高校卒業者を村に残すには何らかの就労の場を村として作ることが必要であるが。

村長　企業誘致は会社の担当者の話として椎茸、米等何百tとの話しであり、水没予定地を活用して椎茸生産設備、焼き畑で「ソバ」作り等で雇用の場をつくりたいと考えている。

質問　我村は林業の村であり、農林課長が村有林事業で就労予定者数等の計画がありその計画を活用して雇用の場が出来ると思うが。

村長　主産業は林業であり、認定事業体を増し主伐期を迎えており人手は多く成る。機械整備、機械力を頼りたいとの考えでオペレーターとしての資格を取る教育と研修も必要と考えている。

質問　5年連続水質日本一の水を飲料水の生産をし中国の水不足に何ける熊本県にも協力を頂く。又、水耕栽培で雇用の場を作る考えは。

村長　水耕栽培等提案をいただいており、鳥獣被害の防止の観点、面積等有効と思う。例えば小水力発電等あわせて検討をしたい。

質問　国際化の時代で外国語塾の開設、人材育成の面でも塾の開設は必要と思うが。

村長　外国語の中で英語中国語の語学を身につける必要な部分はある。塾がいいのかいろんな面があり教育長から答弁をさせます。

教育長　塾には公設公営の質問であり、山江村で公設公営の計画があります。本村では「のびのび教室」を計画しており、日数時間等昨年度より増やして実施する計画をしており、外国語に触れる機会プログラムが出来ればと考えている。

村づくり

少子化対策は

早田議員

結婚対策で対応したい

和田村長

早田議員　五木村の少子化対策は何が重要なのか。

和田村長　結婚対策と雇用の安定が必要と思う、1番は結婚をしてもらうことが重要だ。また、五木村にどう住んでもらう事も重要だと思う。

質問　結婚対策と子供を育てる環境整備も必要で「子守唄の里」五木村は、他の市町村に無い仕組みを作ったらどうか。

村長　まずは結婚に対する制度、結婚に至るまでのプロセスを考え直すべきだと思う。

質問　民主党政権が「総合こども園」制度の断念をしたが、五木中央保育所の充実と環境整備に人的支援も必要と思うがどうなのか。

村長　保育所の定員が30人に対し、現在36人となっている。向う10年なり15年なり、現状が維持出来たら1人か2人雇用したいが、園児の増減があるので困っている。

質問　村の基本構想では、人口を増やすことを目標にしている。それなら充実させて園児が減らないようなことをすべきではないのか。

村長　目標として一生懸命努力はしているが、現時点では施設の拡充もしたいが敷地の事もあり精査をしたい。

質問　施設の拡充、改修で保護者や利用者の意見を聞いて工事などは行っているのか。

保健福祉課長　保育所の所長とは事務手続きは行っている。保護者などから希望があれば早速、調べたい。

質問　給食などでアレルギー食品の対応が大変だが人材の拡充、確保と対策は。

村長　現在1人で対応してもらっており何とかしたいが、調理室の課題も含めて今、頑張って下さいとしか言えない状況である。

質問　子どもたちが、家で勉強する時の補助として節電の面からもLED電球に交換するようなことはできないか。

村長　郡内にはLEDの自社製品をつくられた所もあるので、どれくらいの助成をすればいいのかも含めて検討したい。

●行政機関の共同設置は

質問　行政機関の共同設置は地方自治法の改正で出来るようになったがその後、検討をされたのか。

村長　具体的には未定だが行政組合の中で1件は具体化してくるかもしれない。

質問　東京都の中では区議会、市議会、町議会、村議会で法制局の共同設置が議論されているが、議会からの条例制定などでそのような部署を共同で設置する考えはないか。

村長　協議会まではいくが、首長の任期、議会議員の任期のズレで進まないのが現状である。議論はしていきたい。

中央保育所の園児たち

を 問 う ！

交通弱者の救済対策は

―――――――――――――― 樅木議員

デマンド方式も考える

―――――――――――――― 和田村長

樅木議員　交通弱者の救済対策として現在コミュニティバスを運営している。現在の利用状況と今後の見通しは。また山江村のようなデマンド方式の考えはないか。

和田村長　山江村や球磨村のデマンドバス方式についても6．7年前に検討をしたが実現しなかった。赤字路線においては、負担金等を考えると厳しいものがあるので地元との理解を得ながらデマンドなりコミュニティバスなり本数増なども検討したい。

質問　現在のコミュニティバスは発着場所が診療所限定のため他の用件や買い物などで不便な点があるので村内の商店などにも停車できるような配慮があるなら商店の活性化にも繋がるのではないか。

村長　現在は診療所への通院がメインで、交通弱者の通院が目的ですので、交通体系については運行計画の中で担当部署と十分に検討したい。

質問　山江村の取り組みでは、村の持ち出しを300万円程度抑えることが出来たと聞いている。また1人の雇用も出来ると思うがどう考えるか。

村長　山江村の場合は、民間運送会社が大変努力されたと聞いている。デマンド方式は常時予約の配車係りが必要となり振興公社や社会福祉協議会などでは人員配置が出来ない。経費がかからない方向で議会や区長会などで意見を聞きながら実施を図りたい。

待機中のスクールバス

バスを待っている様子

村づくり

3者合意のその後は

岡本精二議員

役割分担で進めている

和田村長

岡本議員　昨年6月26日に3者（国土交通省・熊本県・五木村）で合意された3項目と記者会見で本村への財政負担で県が50億円を支援するとなり、1年が経過するが、その後どうなっているか。

和田村長　決定事項についてはそれぞれに役割分担があり、県の50億円については、県議会にも了承してもらった。国は坊主山の掘削を来年3月には終わらせたいと現在、着手準備が進められている。田口のイチョウの木については調査し、国土交通省の責任で移植するとのことである。水没予定地については、利活用の委員会を立ち上げ検討して行きたい。

質問　合意された事項の締結の証（あかし）が無く、実施について非常に弱いので、今後、文書に押印して取り交わす必要はないか。

村長　ダム対策特別委員会からも指摘があった。過去に「覚書」「確約書」を交わしてきたが結果として実行出来ないこともあった。3者協議の合意は文書を交わすより、マスコミなどを通じて全国民に報道され、合意事項が認知されることが大事だと思っている。指摘を受けたので今後、再認識の意味も含め文書化するのは可能だと考えている。

質問　合意事項の文書化は、村の生活再建のための50億円なので是非必要だと思う。また、国道445号、九折瀬地区の整備を始めるとあったがどうなっているのか、工事工程表を早く出してもらいたい。

村長　445号については、県が主体となり道路改良事業として進められることとなり、仕切り直しの状況です。県の土木部では現在、道路の線形・環境アセス・用地の精査中で事務手続きが終わり、一段落しないと工程表は示されないとの回答である。

●五木村の危機管理は

質問　危機管理とその体制は現在どのようになっているのか。

村長　日常的には村長が最高責任者として危機管理に対処している。また、豪雨災害などについては村の防災会議などで検討し決定している。

質問　防災会議や国交省との情報伝達訓練は実施されたが、住民のための危機管理として情報提供が必要と思う。本村には「生活安全条例」が制定され、その中に生活安全推進協議会が設置されているが、会議は開催されているのか。

総務課長　まだ一度の会議も、委員の委嘱も行っていない。

質問　危機管理はこれで良いのか。全国瞬時警報システム（Jアラート）が全国に設置され、その訓練が実施されたが、五木村では受信されず、県に報告もしていなかったとの報道があった。事実なのか。

村長　事実であり誠に申し訳なく思っている。私共の指導が悪かったと非常に反省している。

坊主山のカット部分

村づくりを問う！

ボランティア派遣について村長の考えは

山下議員

将来に向けて大変有意義だ

和田村長

山下議員　消防組合議会で今後の災害対策を含め、視察及びボランティア活動をしてきた。我々は海岸の清掃で、元の海岸に戻すには数年かかると思われる。まだまだ活動が必要だ。人吉社協が高校生ボランティアを募集した。20名の枠に倍以上の応募だった。高校生の被災地への関心の高さがわかる。本村も分校があるが、村長の考えはどうか伺いたい。

和田村長　分校生が被災地を見て活動をして、どのように思い、どのように感じて帰るか、将来に向けて大変有意義だ。ボランティア活動はいい事だと思う。

質問　分校には修学旅行に一人3万円の助成がある。学校行事だから簡単ではないが、助成金に上乗せをするか、夏休みに助成する等、活動方針はどうか。感情多感な次世代を担う子供達、活動し被災地の方々とふれあうことで、薄れてきた家族の大切さ、人と人の絆等、最高の教育と思うがどうか。

村長　人吉社協の助成を見ると本村でも不可能ではない。しかし、基本的には修学旅行とボランティア活動の組み合わせは、いかがなものかと思う。保護者の同意が必要で現時点では無理とのことである。

分校ではスキーを計画してある。そこで私としては、長野県の栄村を視察するのも一案だと思う。いずれにせよ五木分校に投げかけてみたい。

●想定外の災害に対する意識改革

質問　村の防災マップも完成し各地域の説明がなされ、避難経路、避難場所、危険箇所等が記載され、地域ぐるみで体制を整えるとある。しかし想定外も考慮する必要があると思うがどうか。

村長　避難所自体が山腹崩壊の危険、避難道が1路線など、村内でも絶対安全だという所は少ない。集落で、きめ細かな計画、1世帯ごとの検討が必要と思う。

質問　消防組合議会で郡市民の生命を守る観点から宮城県内の2箇所を視察した。住民の避難誘導中に3人の職員が殉職された。もう片方は8人の職員が殉職され、2人の方が見つかっていない。消防団員も職務中多くの方が殉職された。不眠不休で3日間続いた。幹部の方が話された言葉の重さに我々も、ひしひしと苦悩が伝わった。この様な悲しい出来事が本村でも起きないよう、執行部、議会、村民の意識改革が必要と思うがどうか。

村長　屋上にのがれ、助かられた南三陸町長の話を聞いた。災害時決断するのは首長だ。予算は議会だ。議員も役場庁舎に詰めて頂き、その場で決断する事が大事だと言われた。私もそう思う。災害は無いにこしたことはないが、いざと言う時、避難勧告を出し、空振りでも良い。費用負担は生じるが人命を失うより空振りが良い。避難勧告、避難指示を肝に命じて努めたい。

消防組合議会のボランティア活動

むらびと インタビュー

村民の一員として頑張りたい。

大村（おおむら） 薫平（くんぺい）さん

◎いつから、どの地区にお住まいですか？

平成23年4月から西谷地区に住んでいます。

◎どちらのご出身ですか？

福岡県嘉麻（かま）市です。（飯塚市の隣）

◎現在、お仕事は何をされていますか？

役場の建設課で道路の維持管理の仕事をしています。

◎現在のお仕事に就（つ）かれたきっかけはなんですか？

私の祖父が五木村出身で、子供の頃からよく五木村を訪れていました。そして、祖父の故郷である五木村のために仕事がしたいと考えるようになり、今の仕事を選びました。

◎五木で生活する上で、良かったことと困ったことはなんですか？

良かったことは、五木村は自然が豊かで、四季折々の山々の風景を楽しむことができることです。

困ったことは、買い物が少々、不便なことです。

◎五木村の再建やあなたの将来像について、一言お願いします。

五木村の良さを生かして、観光客を増加させ、五木村を盛り上げられたらいいと思います。私も五木村に住み続け、村民の一員として頑張りたいと思います。

大村薫平さん

議会の動き（6月～8月）

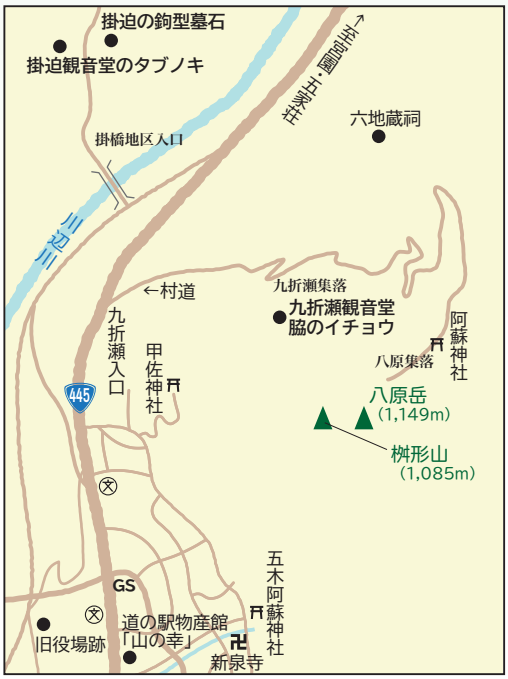
6月5日	6月定例全員協議会 議会運営委員会 錦町議会活性化特別委員会との意見交換会（議会運営委員）
6月7日	6月定例郡議長会（田山議長）
6月8日	くま川ひまわり基金法律事務所感謝祭（田山議長）
6月13日	平成24年第2回五木村議会定例会～ 15日
6月19日	人吉地区防犯協会連合会評議員会（田山議長） 球磨郡消防ポンプ操法大会結団式（田山議長）
6月21日	例月現金出納検査（岡本精議員）～ 22日
6月23日	成尾政紀氏叙勲受賞祝賀会（田山議長）
6月26日	国交省川辺川ダム砂防事務所事業説明会
6月27日	県庁織月会（田山議長）
7月1日	議会報告会及び意見交換会（三浦・平沢津・下谷・西谷）
7月2日	五木五家荘県立自然公園連絡協議会総会（田山議長）
7月3日	7月定例全員協議会、ダム対策特別委員会、広報委員会 議会報告会及び意見交換会（山口）
7月5日	川辺川ダム建設促進協議会及び合同期成会総会（田山議長）
7月6日	7月定例郡議長会議（田山議長）
7月10日	全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会（田山議長）～13日
7月11日	主要地方道坂本人吉線改良貫通促進期成会総会（岩本副議長）
7月17日	臨時全員協議会
7月18日	人吉球磨地域みどり推進協議会通常総会（田山議長） 人吉球磨広域行政組合議会特別委員会（早田、中村議員）
7月19日	例月現金出納検査（岡本精議員）～ 20日
7月23日	議会常任委員長・議会運営委員長研修会 7月25日　広報委員会
7月26日	町村監査委員研修会（岡本精議員）
7月27日	広報委員会
7月29日	球磨郡消防ポンプ操法競技大会（田山議長）
7月31日	熊本県議長会理事会（議長） 一般県道五木湯前線・幸野染田線改良貫通促進期成会総会（山下経済委員長）
8月8日	平成24年第3回五木村議会臨時会（予定）
8月22日	人吉球磨広域行政組合議会運営委員会（早田議員）
8月29日	熊本県町村議会正副議長研修会（正副議長） 下球磨町村議会議長連絡協議会総会（正副議長） 人吉球磨広域行政組合第３回定例会（早田・中村議員）

シリーズ 五木村の宝（たから） Vol.5

＝頭地地区（東俣（ひがしまた））編）その②＝

旧田口地区を上流に向かって溝口、松本地区があり、松本地区には、甲佐神社が祀ってある。火の神様とも、癌瘡（がんそう）の神様とも諸説あり、いつの頃、誰が創建したのか定かではなく、その云われについて知る人も少なくなっている。その先が、九折瀬、八原（やつはら）である。国道445号線から村道に分岐して、九折瀬（つづらせ）集落上り口から、車で、約10分位の所に、集落がある。九十九折（つづらおり）の急峻な山肌に茶園が広がる、集落の上部に九折瀬観音堂、その脇に樹齢数百年の銀杏の大木がそそり立っている。村道を挟んで反対側の畑と山林を越えた所に六地蔵を奉った祠がある。知る人ぞ知るの場所である、昔は梶原集落へ通じる歩道が在ったそうだ。八原集落へは更に車で約15分位行ったところである。集落の一角には阿蘇神社が奉ってあり、その脇には、銀杏の大木もそびえたつ。更に奥へ林道を進むと八原岳（標高1、149m）その奥には枡形山（標高1、085m）へと続く、枡形山からは頭地地区の中心地を見下ろす事が出来る。来た道を後帰り、国道へ戻ると対岸に掛橋地区がある、現在は、付替え村道が、集落の入り口まで来ているが、以前は旧国道に掛橋入り口と、バス停がありそこから、川辺川を横断する歩道の橋が掛けてあり、歩いて約1時間かけて登っていかねばならなかったと伝え聞く。この地には釣鐘型墓石と、観音堂が奉ってある。ちなみに、九折瀬観音堂には村指定の文化財、聖観音座像と台座納板銘及び光背があり、掛迫の釣鐘型墓石も村指定になっている。

九折瀬観音堂脇のイチョウ



今回の豪雨災害により九折瀬観音堂は土砂が流入し被災しました。

編集後記

3・11の悲劇に日本中が嘆き悲しんだ。世界中からも応援・支援の手が日本に届いた。"想定外"では済まされないが、多くの人々にとって想定外の出来事であったと思う。

あれから1年と数ヶ月、私たちの住む五木村にもまさしく想定外の災害が起きた。

日本は世界唯一の核被爆国。毎年台風がくる。地震もある。津波もくる。小さい島国であるが、それでも立ち上がってきたのが日本。

この五木村も山間部が大部分を占め、河川もあり、決して安心して暮らせる場所ではないが、これまで日本人が幾多の試練を乗り越えて今があるように、今こそ五木村の底力、「絆」を発揮する時ではないだろうか。今まで当たり前と思ってきたことを改めて感謝の気持ちで見つめなおし、助け合いの大切さや他者を思いやる気持ちを再確認する機会にできれば、この災害は決して無駄にはならない。

村民一人ひとりの力を合わせて、この災害を教訓に新たな一歩を踏み出せるように、私たち議員も精一杯の努力をしていかねばと身の引き締まる思いである。

T・N

次回の定例会は9月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

発行　五木村議会
発行責任者　議長　田山淳士
編集　議会広報委員会
〒八六八―〇二〇一　熊本県球磨郡五木村甲二六七二―七
TEL（〇九六六）三七―二三五二